

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月28日

事業所名：福岡市立西部療育センター

保護者等数（児童数）112名 回収数82名 割合73.20%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	不明	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	お子さんの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	71	9	3	0	・子どもの人数に対してスペースが狭い。雨の日など廊下遊びの時に子どもがぶつかりそう。 ・いるかの部屋は少し狭く感じる。こどもの数も多いので、部屋に熱がこもっている感じ。感染リスクが高くなるのでは？と思った。換気の頻度が不明。 ・親子10組近くいるとイルカの部屋が狭く感じる。 ・うちの子が走るのが大好きなので少し自由に走れるスペースがあればなお良いと思います。 ・10人の子ども＋保護者でいるかの部屋が狭く感じる。こども同士の衝突など危ないと感じる。	・園庭が使えない雨の日等は一人ひとりのスペースが狭くなってしまいます。玩具の配置など工夫しながら、お子さんが危険のないように遊べるよう環境調整をしていきたいと思います。 ・ご意見ありがとうございます。イルカの部屋の換気は、お子さんの飛び出し防止もあり、常に窓を空けることができませんが、換気扇が設置されています。また、療育の前後には、窓を空けて対応しております。 - また、親子通園の定員を希望者が多いことから8名から10名に増員しております。また、ひよこのクラスが使用できる部屋が限られている為、同じ部屋でお待ちいただくことになり、ご不便をおかけしております。屋上やベランダ等の活動を確保し、少しでも発散できるように、また日課の検討等行いたいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	79	2	1	1	・凸凹ちゃんの集まりなので一人でも大変なのに10人くらいに3から4人ではすごく大変そう。2人に一人の先生がいてもおかしくない状況ですね。賛否ありますが、一人一人の先生でもありと思います。	・ありがとうございます。お子さんが楽しく通園できるよう、今後も努力していきたいと思います。
	3-1	生活空間は、お子さんにわかりやすく「構造化された環境」【注ⅰ】になっていると思いますか。	78	2	0	3	・トイレやオムツ替えの場所が部屋の隣だと良い。体が大きくなると移動が多いと大変	・施設の構造上、保育室の隣にトイレを置くことは難しいですが、大変な時はお手伝いしますので、担任にお声掛けください。
	3-2	障がいの特性に応じて、事業所の設備等は、バリアフリー化やわかりやすい情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	78	2	0	3	・覚支援が各場面ごとに行きつり行かれており、ことばの指示だけでは理解が難しい子どもも見通しを持ち、安心して過ごすことができていると感じる	・ありがとうございます。お子さんひとり一人の特性に応じた支援を今後も心掛けて行きたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、お子さん達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	79	3	1	0	・いつも床などびかりかにしてあってとても清潔感があります。 ・それを認知できる能力がない為不明	・ありがとうございます。 ・1、2歳児と低年齢の為、お子さん自身はまだ感じていないかもしれませんが、保護者の方が安心して利用していただけるよう環境、体制を整備していきたいと思います。
適切な 支援の 提供	5	契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ⅱ】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	74	7	1	1		・契約時の丁寧な説明を実施していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	80	2	0	1	・園での行事、イベント、日々の活動たくさん「楽しい」が詰まっていると感じます。	・ありがとうございます。お子さんも、ご家族の方も「楽しい」と感じていただけるよう今後も企画していきたいと思います。
	7	お子さんのことを十分理解し、お子さんと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」【注ⅲ】（年間・半期の目標、まとめ等）が作成されていると思いますか。	79	3	1	0	・専門性の理解が先生により差がある。 ・全体的に専門的な支援なのかと感じてはいますが、「自分の子のため」という専門性などはあまり感じていない。 ・運動訓練は素晴らしいと思う。療育は「うちの子」に限ってはかなり受動的で外部刺激が少なく感じる。もっと攻めた療育、より積極的な療育だといいのではと思う。	・経験年数等にも差があり、専門性についても職員間で差があることは事実だと思います。皆様の不安にさせてしまったことをお詫びいたします。職員研修や職員間のOJT等を通して各自専門性を高めていきます。 ・療育のねらい等の説明がきちんとできていない部分があったのかもかもしれません。大変申し訳ありません。日々の療育のねらい等丁寧にお伝えしていきたいと思います。
	8	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドライン」【注ⅳ】に示された支援内容からお子さんの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	79	2	1	1		・個別面談を実施し、保護者の方と話し合いながら児童発達支援計画を設定していきます。

保護者への説明等	9	「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）に沿った支援が行われていると思いますか。	78	4	0	1		・児童発達支援計画に沿った支援を提供していきます。
	10	園の「活動プログラム」【注v】が固定化しないよう工夫されていると思いますか。	76	5	1	1	・固定化されている気がする。こどもが飽きている。 ・季節ごとの行事をカリキュラムの中に組み込んでいただき、とてもありがたいです。 様々な感覚を使うスライム、運動あそび、プール、手指遊び、等様々なカリキュラムを準備していただきありがとうございます。	・ご意見ありがとうございます。同じ遊びでも繰り返し経験する中で、「わかる」「出来る」を積み重ねていくことができます。「楽しい」と感じてもらえるように提供の仕方等工夫して行きたいと思っています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のお子さんと活動する機会がありますか。	60	9	6	7	・ただでさえ健康児を見たら辛くなるのに療育でまで交流したくない	・貴重なご意見ありがとうございます。今後の地域交流の在り方の参考にさせていただきたいと思います。
	12	契約時に、運営規程、「年間カリキュラム」【注ii】、利用者負担額等について丁寧な説明がありましたか。	77	5	0	1		・今後も契約時に丁寧な説明を心掛けていきます。
	13	「児童発達支援計画」（年間・半期の目標、まとめ等）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	82	1	0	0		・個別面談日を設定し説明を実施します。
	14	園では、家族に対して家族支援プログラム（「ペアレント・トレーニング」【注vi】等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	67	8	3	5		・PステップやPステップぶち、ペアレントメンター相談会を実施しています。また肢体不自由児通園の方を対象に茶話会や家族交流会を実施していきます。
	15	日頃からお子さんの状況を保護者と伝え合い、お子さんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	79	4	0	0		・送迎時や連絡帳、電話等を活用しながら保護者の方共通理解を図っていきます。
	16	定期的に、保護者に対して面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	77	3	1	2		・定期的に個別面談、月に1回クラス懇談会や学習会等を実施し、子育てに関する支援を実施していきます。
	17	園の職員から、共感的に支援をされていると思いますか。	79	4	0	0	・先生たちはみなさんとても優しく色々話を聞いてくださって本当にありがたいです。 ・面談はもちろん日頃からこどもの小さな変化に気づき伝えてくださっています。先生方の対応が温かいので、小さな悩みでも安心して相談することができます。	・引き続き共感的に支援をさせていただきます。小さなことでもお話しいただければと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がなされていますか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	50	18	2	12		・クラス懇談会と合わせて保護者会を実施するなど保護者同士の交流の場を設定しています。 ・小学校や幼稚園等の夏休み期間を利用してきょうだい児体験保育や同伴通園等を実施しています。
	19	お子さんや家族からの相談や申入れについて、「対応の体制が整備」【注vii】されているとともに、お子さんや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	74	5	1	3	・何を相談したらいいのか、どの範囲なら相談に値するのかわからない母親もいる。	・どんな些細な事でも構いませんので、相談していただければと思います。 ・個別面談だけでなく、クラス懇談や親子積園の帰りの集まり等も活用していただければと思います。
	20	お子さんや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	80	2	0	1		・ICT（コドモン）の活用を検討しながら園便りや献立表等を配信していきます。
	21	定期的に、通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果がお子さんや保護者に対して発信されていますか。	72	5	0	6	・見ていないので分かりません。 ・お便り帳だけでは分かりにくい所がありますが、保育参加等行事である程度分からなかったことがそういう事か！とつながることがあります。コドモンが活用（写真）が出来ないのが残念です。	・ホームページ等で療育動画等もUPしておりますので、よろしければご覧ください。 ・現在個人情報の観点からコドモンの写真活用については保留とさせていただいています。今後コドモンの連絡帳機能につきましては検討していきたいと思っています。またわかりやすく書くようにしていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分留意されていると思いますか。	81	2	0	0		・個人情報保護の観点から取り扱いについては十分に注意しています。
	23	園では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	68	6	0	9		・緊急時には迅速に対応できるよう努めます。また各保育室内に避難経路図を掲示しておりますので、周知、徹底を図ります。

非常時の対応	24	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。	71	4	0	8	・園以外の場所での災害時にどのように避難するか、持ち物や常備薬の確保方法、医療機関との連携などの障がいがある人はどのように災害をのりこえるのか、具体的に知っておきたい。学習会などでぜひやって欲しいです。 ・毎月防災訓練がされておりこどもも楽しそうにしている。 ・避難訓練を何度も経験できて安心	・貴重なご意見をありがとうございます。職員も災害時の対応等勉強してお伝えできるようにしたいと思います。	
	25	お子さんの安全を確保するための計画について周知される等、安全確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75	3	0	5	・避難訓練はされているのは知っていますが、何をどのような形でやっているのか具体的にはしらない。	・月ごとに「火災」「地震」「ミサイル」「不審者侵入」を想定して訓練を実施しております。また、年に2回当センター全職員で防災訓練を実施し、同時に初期消火訓練等を行っております。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した場合、速やかな連絡や状況の詳しい説明がされていると思いますか。	70	4	0	8	・けがや頭を打った際すぐに看護師に連絡をしてくださったり、帰宅後も連絡をいただけてとてもうれしかったです。 ・連絡帳等を通していつも細かく教えてくださっています。 ・ちょっとした怪我でもすぐ連絡をしてくれる ・小さなけがに対しても丁寧に状況を説明してくださっています。園内にお医者さんも看護さんもいらっしゃるので安心できます。	・ケガはあってはならない事と思っていますが、どうしても、転ぶ、ぶつかる等防げない怪我があるのが現状です。大変申し訳ありません。	
満足度	27	お子さんは通園（通所）を楽しみにしていますか。	61	10	2	1	5	・最初はよく泣いていましたが、先生たちのおかげで今まで車から降りる時から笑顔です。本当に有難いです。事務の方々もいつも優しく受け入れてくださり感謝しています。西部療育センターの方々は皆さんとても優しく、やわらかい雰囲気でも娘も、私もいつも楽しく通わせていただいています。訓練の先生も色んな相談に乗ってくれてどうしたら良いのかこれは誰に聞いたらいいかわからないことだらけの障害児育児ですが、本当に助かっています。 ・朝のあつまりや好きな歌を家でやると喜ぶくらい園でやっていることが習慣になっています。行くのを嫌がることもなく、毎回楽しみにしている様子に安心しています。 ・大変な時期もありましたが、今では毎日朝に園があるか確認するくらい楽しみにしています。 ・大好きな先生と楽しい活動があるので、毎日ウキウキで通っています。 ・単独通園ができるようになったのはしっかりとした関わりがあったからだと思う。バスの運転手さんも手を振ってくれるので安心できる。 ・休日も「のびのび園」と行きたがるくらい楽しんでいるようです。	・週に1回～2回の通園頻度ということもあり、お子さんも、保護者の方も慣れるまでに時間を要し、大変だったのではないかと思います。楽しく通園していただき私たちもうれしく思います。今後の色々な人との関わりを大切にしながら、楽しい活動を取り入れて行きたいと思っています。 ・同じ遊びでも繰り返し経験する中で、「わかる」「出来る」を積み重ねていくことができます。「楽しい」と感じてもらえるように提供の仕方等工夫して行きたいと思っています。
	28	お子さんは安心感をもって通所されていますか。	73	4	1	0	1	・通い出して2年目。新しいクラスになり慣れるまでは長かったですが（特性の為）今ではすっかり安心して楽しそうに通っています。いつもありがとうございます。	・新しい環境に慣れるまでは、お子さんも保護者の方も大変だと思います。一日でも早くのびのび園が安心出来る場所となるよう新年度は特に引継ぎ等を丁寧にを行い、のびのび園職員一同で支援をさせていただきたいと思っています。
	29	（総合的にみて）事業所の支援（サービス）に満足されていますか。	72	6	0	1	0	・さささつとバスに乗り込む姿や、園から帰ってきた時の満足そうな表情で子どもにとって安心できる居場所になっていること画伝わります。大大満足の支援です。いつもありがとうございます。 ・今の支援を受けられることに感謝しています。先生方が一生懸命色んなことに取り組んでくださることが伝わってきます。安心して子を預けることができます。いつもありがとうございます。	・保護者の方が「いってらっしゃい」と笑顔で送りだしていただくことが、お子さんの安心感にも繋がります。お子さんだけでなく、保護者の方とも信頼関係をしっかりと築き、支援をさせていただきたいと思っています。

（注釈）

- 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、机や本棚の位置やついたての使用などで刺激を整理し、お子さん本人がその場所で何をしたらいいかをわかりやすくする工夫です。
- 「年間カリキュラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。
- 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標とその達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載した計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

- iv 「児童発達ガイドライン」は、児童発達支援の提供すべき支援として、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」を規定しています。
本人支援とは、子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるよう「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」の5つの領域での支援のことです。
家族支援とは、お子さんが安定して育ち、暮らしていくことを目的として、家族が安心して子育てを行うことができるよう、様々な家族の負担を軽減していくための物理的・心理的な支援を行うことです。
移行支援とは、あなたのお子さんが、お住いの周囲の一たちから理解され、家族として安心して地域参加するための支援のことです。
- v 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。お子さんの特性や発達の課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- vi 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がお子さんの行動を観察してお子さんの特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等の関わりのコツを学ぶことにより、お子さんが適切な行動を獲得し、保護者がポジティブな気持ちで子育てに向かうことを目標とした家族支援です。
- vii 「対応の体制の整備」は、保護者が事業所に対して、相談や「こうしてほしい」というお願いをする際に、誰に、どこにお話をすれば良いか、が決まっていて、それを保護者に知らされていることも含まれています。また、対応とは、相談やお願いに対して、迅速かつ適切な対応をすることだけでなく、対応の必要がないことや対応できない事情について保護者が理解できる説明を行うことも含まれます。